

公益社団法人日本青年会議所
基本理念

親切心が織りなす豊かさで
笑顔あふれる未来へ

公益社団法人日本青年会議所
中国地区協議会 基本理念

親切心が呼び起こす
誰一人取り残さない中国の実現

公益社団法人日本青年会議所中国地区
岡山ブロック協議会 基本理念

思い合う心が相集い
笑顔あふれる岡山の創造

公益社団法人岡山青年会議所
スローガン



〔目次〕

[1]	公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 基本理念 基本方針
[2]	公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 理事長所信
[3]	副理事長方針
[4]	専務理事・常任理事方針
[5]	委員長事業計画
[6]	監事抱負
[7]	公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 委員会職務分掌
[8]	公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 年間公式スケジュール表
[9]	公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 組織図
[10]	公益社団法人日本青年会議所 2024年度 出向者
[11]	公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2024年度 出向者
[12]	公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2024年度 出向者
[13]	公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー
[14]	公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 収支予算書
	公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 理事長公職委嘱表
(付)	公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織図
	公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2024年度 組織図
	公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2024年度 組織図
	公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

公益社団法人岡山青年会議所 2024年度

基本理念

強固な絆で結ばれたチームたることを強く意識し、使命感と誇りを胸に抱き、自らが先頭に立ち、まちや市民に影響を与える岡山青年会議所であり続けよう。行動なくしては変化なし。失敗を恐れては変革なし。圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めていこう。

基本方針

常に先頭に立ち礼儀礼節を重んじ、利他の心と謙虚な姿勢で格物たる気概で進んでいこう。郷土おかやまの明るい将来を築くため、基盤となる会員全体の結束力強化を重視し新たな知見と魅力を備える人財を磨いていこう。

岡山の未来を築くために我々が率先して活動し、能動的に他団体や多くの市民が活動できるまちづくりを体現しよう。失敗を恐れず、圧倒的な結束力を発揮し、まちと人の絆を必ず深めることのできる活動を繰り広げよう。

多くの他団体と交わることで、郷土おかやまのこれからを牽引する組織であり続けよう。我々が活動の先頭に立ちすべての起点として、情熱をもって行動に移していくことで、周囲に感動を与えられる存在となっていこう。

誰もが心地良い緊張感を持ち、参加者側も設営者側も相手を想う空間を創出しよう。不易を知り、挑戦の精神と主体性を持って取り組み、我々が関わる交流の機会を内外を問わず唯一無二の結束が生まれる場にしていこう。

会員が今以上に誇りをもち活動できる会員向けの事業を実施し、岡山青年会議所の更なるブランディングをしよう。会員減少の時期から増加に動いてくださった先輩方の想いを引き継ぎ、会員全員で拡大活動に取り組もう。

地域社会から真に求められる岡山青年会議所として、常に礼儀礼節を重んじ謙虚な姿勢で挑戦して組織の価値を高めよう。一つのチームで主体性と戦略性を持った組織運営を行い、頼られる存在となるべく活動を進めよう。

はじめに

岡山青年会議所は日本で9番目の青年会議所として設立され、70年を超える歴史を誇ります。その設立趣意書に記されている言葉があります。「青年は人類社会発展の原動力」「郷土の産業経済的発展、日本経済の再建にたずさわる」。戦後間もない時期に設立された当時の原点にあるのは、将来を築きあげるのは私たち青年の役割であり、岡山の未来を切り拓いていくリーダーたる姿勢とともに行動していく気概に間違いありません。戦災からの復興に立ち上がった先人と、新型コロナウイルス感染症の災禍から脱け出した現在に生きる私たちはまさに同じ役割を帯びているのではないのでしょうか。

社会全体に多大な影響をもたらした新型コロナウイルス感染症も沈静化し、ようやく本来の日常を取り戻しつつあります。しかし、収束したからといって単純に取り戻せるものばかりではありませんでした。世の中のあらゆることがコロナ前とコロナ後で分けられるほどに、新型コロナウイルス感染症の存在は時代の大きな転換点であったことに疑いはありませんが、コロナ禍において断ち切られていた時間、つまり本来であれば受け継がれていたものが途絶えている、途絶えつつあるのも現状です。確かにコロナ禍で起きた変化に対する定着も大切ではありますが、コロナ前に今一度立ち還り、培ってきたものを確認したうえで新たな変革のスタートを切る必要があるのではないのでしょうか。

市民の生活だけではなく地域や各団体も新型コロナウイルス感染症による様々な影響下から離れてスタートを切ろうとしている時です。今こそ、私たち岡山青年会議所が、社会の、そして郷土おかやまの中核をなしてリードする役割を果たさなければなりません。ともすればコロナ禍で忘れられかねない過去の財産を確かめ、しっかりと伝えたいと、我々こそが新たな岡山の未来を築く存在である気概をもち、皆で力を合わせ、このまちと市民、他団体とともにひとつのチームとなって行動していくときです。

圧倒的な結束力と、リーダーシップに満ちあふれた岡山青年会議所であるよう、使命感と誇りを持って活動していきましょう。

ひとつづくり室 結束力を高めるための基盤づくりと、ひとつの結束力強化

岡山青年会議所を形成する最も重要な要素は「ひと」にあります。いかなる時代にあっても、会員同士が切磋琢磨し励まし合いながら学びつつ、ともに成長することでリーダーシップを兼ね備えた人間となり、岡山の発展のために貢献してきました。

コロナ禍にあっては、人と人との距離を取らざるを得ないという、対面する機会も減少し、岡山青年会議所が築いてきたひとつづくりの根幹が揺らいでしまいかねない時期が続きしました。コロナ禍から脱した今、本来のひとつづくりを進めていくときです。

また、現在の会員の多くは脈々と続いてきた過去のひとつづくりを知らない新たな会員でもあります。だからこそ、先輩諸氏が最も大切にしてきたひとつづくりの本質を伝えつつ、時代に合わせた最適な手法を取り入れ、岡山青年会議所の理念を受け継いでいく必要があります。そのためには新会員、受け入れスタッフの立場にかかわらず、誰もがひとつづくりに触れる中で成長するための機会を得ていくことが肝要です。そしてその機会を得るには、ひとつづくりに即した修練を通じて積み上げ、磨かれていく必要があります。それは同時に岡山青年会議所の神髄ともいえる三信条を突き詰めていく活動でもあります。自身を成長させることは、周囲の人々にも寄与することを考えると、自身とその周り、ひいては岡山の明るい将来を築くためにも、修練を重ねながらリーダーたる姿勢を養っていくことが重要です。過去を取り戻しつつ、そこに新たな知見も交え新しい時代を作っていくためのひとつづくりを進めていけば、岡山青年会議所にはまた新たな魅力と力が備わるに違いありません。ひとつづくり室を主体としつつ、会員全体の結束力を高めてひとつづくりに邁進していきましょう。

まちづくり室 まちや市民との結束力強化

交通の利便性、恵まれた気候から、歴史と文化を築きながら発展してきた岡山市は様々な魅力を持つまちです。そしてそれらの魅力は大きな可能性を秘め、これから花開かせていく土壌でもあります。そのためにも、私たちは豊かな発想と行動力とともに、率先してまちづくりに取り組む必要があります。

まちづくりを通じて岡山の未来を築く運動は、岡山青年会議所単体で成し得ることではありません。より多くの市民を巻き込み、誰もが参加したくなる、関わりたくなる行動をとることが重要であり、それこそが我々に期待されている役割ではないでしょうか。事業ひとつにしても、我々の事業を契機に、別の団体や市民が継続して事業を行うようになったり、開催場所としての新たな提起を行ったりできるような、まちや市民に広がりを見せることができる運動や活動であることが重要です。また、事業を推進する側、参加する側、そのどちらもが主体性を持てる仕掛けづくりをすることで、これまでにない能動的な活動が広がっていくはずで、次へとつながり、そして横にも広がる事業を展開し、まちづくりのこれからのための活動を進めましょう。

まちの未来を築くには青少年の育成も大きな意義を持ちます。様々な体験を通じてチームシップをしっかりと学ぶことは、青少年育成に必ずや貢献してくれることでしょう。青少年の皆さんが取り組みたいと思う活動の選択肢が広がり、さらにはそれができる環境を整えば、青少年の夢も広がり、まちの魅力も増していきます。多種多様なスポーツや文化、教育活動などが幅広く市民に浸透している岡山市にはその土壌が備わっているといえます。様々な事業を通じて誰もが主体性を持てる、ひいてはまちづくりの主役となれる、そうした活動の先陣たる役割を果たすべく、結束力をもって挑戦していきましょう。

連携室 地域との結束力強化

岡山青年会議所の活動に参加することで得られる価値の一つは、様々な立場や価値観の人材と出会えることではないでしょうか。

背景が異なり、営む生業も違う、しかしながら同じ志を抱く人々と出会い交流を図り、ネットワークの幅を広げ、価値観をぶつけ合い、磨き合うことで、経済社会に生きる者としてさらに成長と発展をしていくきっかけともなります。

そのネットワークは青年会議所内のみにとどまるものではありません。成り立ちや構成メンバーは違うものの、郷土おかやまの未来をより良いものにするために活動している団体が私たちの他にも多く存在しています。より多くの団体との結束を強化し力を合わせて事業や運動を行うことで、それぞれが単体では為し得なかったことを実現できるはずで、岡山青年会議所がこれまで築き上げてきた信頼とネットワークを活かし、様々な団体と手を取り合い、ときには牽引することでも歩みを進め、岡山のこれからのために、活動を進めましょう。

岡山の夏の風物詩「うらじゃ」は「共生と融和」をテーマに諸先輩方の想いとともに、成長を続けてきました。コロナ禍にあっては中止とならざるを得ませんでしたが、2022年には規模を縮小したものの3年ぶりに開催することができ、岡山の人々に大きな喜びと希望をもたらし、昨年もその想いを引き継ぐ形で開催をすることができました。これは私たちが新型コロナウイルス感染症の収束後に途絶えることなく取り戻すことのできた大きな財産の一つではないでしょうか。市民の期待に応えられるまつりとして復活を遂げ開催されるうらじゃを、本年も支援させていただきます。

この貴重な風物詩を私たちは次の世代へ受け継いでいかなければなりません。より多くの市民に今まで以上に愛され、岡山に住み暮らす人々が結束しひとつのチームとして進んでいくための夏の風物詩であり続けるために、情熱をもって取り組んでいきましょう。

交流室 LOM内外の結束力強化

私たちは、同じ時代に、志をともにし、集まった仲間です。そうした仲間が集うこと自体に大きな意義があり、そして会員同士で交流することは友情を育み、刺激を得て成長する貴重な機会となります。

新型コロナウイルス感染症にさらされていた期間は、工夫しつつ交流を図ってきたというものの、それでも会員同士が顔を合わせて接する機会は著しく制限を受けざるを得ませんでした。しかしそれが収まった今は、以前のように交流を深める機会を作り出すことができる日々が戻ってきました。全会員が顔を合わせて集うことのできる例会は LOM の結束力を高めることのできる格好の場です。貴重な機会を学びと変えられるよう、全員が主体となり、会員全員がひとつになる例会を実現させていきましょう。

交流の中から学べることは多いはずですが、つまり交流することは、ただ顔を合わせるための機会にとどまりません。そこで成長するには、積極性ととともに学ぶ意識を高くもって臨むことが大切です。また学ぼうとするなら、相手への感謝の姿勢が欠かせないでしょう。友情を育み、自身の成長を志す、そうした会員同士が関係を深めることで、岡山青年会議所もまた、組織としての質を高め、創造性と活力のある団体として岡山の中核をなすことができます。他 LOM や先輩諸氏との交流の機会を最大限活かし、幅広く結束力を高めることで、結果的にさらに強靱な岡山青年会議所を創り上げるとともに、交流することが可能になった日々を貴重な時間として捉え、自身の鍛錬の場として活かしていきましょう。

未来室 強化された結束力で可能になる未来への投資

岡山青年会議所が影響力のある組織として存在し続けるためには、未来への投資は欠かせず行われるべきであるといえます。長きに渡り歴史を紡いできた団体であることに誇りを持つ一方で、その歴史に決して胡坐をかくのではなく、持続的に活動するためにはどうあるべきかを常に考え、内外へと発信するとともに同志を増やしていきましょう。

岡山青年会議所が岡山の発展に寄与し、先陣を切ってその役割を担っていくために大切なのは、何よりもリーダーシップを持ち行動していくことが重要であるのは当然のことです。加えて大事なことは、私たちの活動を広く知ってもらうことではないでしょうか。行動や活動を知ったことでより共感を得られるようになれば活動への理解度が増し、ひいては後押しと支援を得られることでより積極的に活動することが可能となります。また活動の内容を知ることを通じて、人々の間で岡山というまちの新たな魅力を知ることや再発見する契機にもなります。企業や団体も性格を持った一個人であるといわれる昨今、単純な広報のみでは人々に情報を届けることすらできなくなっています。何が岡山青年会議所のブランドを形作るのかを真摯に考え、広報活動のみにとどまることのない、岡山青年会議所のブランドづくりに邁進していきましょう。

また、我々が40歳という限りある青年会議所活動を行っている以上、仲間を増やしていく活動に終着点はありません。会員拡大は LOM 全体の最も重要な活動といっても過言ではありません。これまで培ってきた歴史や本年行う数々の事業により、常に憧れられる存在を目指し、新たな仲間との出会いを通じて更に結束力を高めていきましょう。拡大に対する高い意識を常に持ち続けるために、内部から会員の意識を抜本的に変え、結束力を持って全員がひとつのチームとなり拡大活動に取り組んでいきましょう。

総務室・財政規則審査会議 強化された結束力を束ねる扇の要

岡山青年会議所を支えるのは「ひと」です。会員一人ひとりの誠実かつ積極的な取り組みがあり、それらが岡山青年会議所の活動となって、まちの発展のための大きな役割を果たすことにつながっています。そのときに忘れてはならないのは、組織としての社会的信

頼です。信頼があつてこそ、私たちの活動は信用を得られ、円滑に進めていくことができます。

組織全体に目を向け、より一層地域から信頼を寄せられる団体であるための体制づくりと運営に取り組んでいくことが「扇の要」である総務の役割です。時代の移り変わりとともに組織の在り方や求められるものも変わっていきませんが、総務を組織の核として、より規律性の高い組織を確立させていきましょう。

また、公益法人格である我々には、コンプライアンスの徹底、組織の透明性、会計の明瞭さなど、組織の健全な運営が求められます。コンプライアンスの重要性がより増している中、率先して社会の模範となり、信頼の得られる組織であるように努めていかなければなりません。財政規則審査会議では、時代に先駆けた組織の運営を推進してまいります。

終わりに

「胆大心小」

度胸は大きく、注意は細かく払うべきことを示す言葉です。青年らしい、我々にしかできない斬新な手法で運動・活動に挑戦していく一方で、それらの計画を入念かつ繊細に組み立てることができれば、我々の運動・活動は郷土おかやまに必ずや大きな足跡を残すことができるかと私は確信しています。

コロナ禍にあった3年間は、大きな影響をもたらしました。様々な側面でダメージをもたらしたのは間違いありませんが、その一方で新たに生まれたテクノロジーや考え方も存在しているのも事実です。そのような状況下にある今は、好機ともいえます。コロナ前に培ってきた土台に加え、コロナ禍での経験から得たもの、この2つを併せ持ち、そこから得られる知見があるのではないのでしょうか。

また、岡山青年会議所にも新しい会員が次々に加わり、従来にないバックグラウンドや個性を持った会員が増えています。多様な個性を持った会員が増えているからこそ、その個性を活かしていけば、これまでになかった斬新な発想やそれに基づく行動も生まれるはずです。言ってみればこれまでになく多種多様なツールを手に入れていることとなります。同じゴールを目指すにしてもそこに向かう道は多くあります。そして走る人も、歩く人もいていい。むしろそれぞれの道を進み、様々な進み方があれば、それらが結集するゴールの到達点もより高く、より厚みのあるものになっていくのではないのでしょうか。

これまでに先輩諸氏が培ってきたものは岡山青年会議所にとっての大きな財産です。単年度制という不連続の連続の中で、その財産は我々会員にも、郷土おかやまにも大きな影響を与えてきたことは間違いありません。その歴史と伝統から学び、それを受け継ぎ踏まえつつ、新たな個性をそこに取り入れる。決して批判にとどまるのではなく、己の発想をもとに提案する。それら提案の中から、新たな行動が生まれてくる。それが私たちの新たな活力となり、また会員それぞれの事業の場や家庭にも持ち帰ることができる糧にもなります。

誰もが幸せになることができる社会であるよう活動することを目的に、岡山青年会議所の活動に打ち込みながら、会員にとって豊かな将来につながるよう、伝統に敬意を持ちつつ圧倒的な結束力を持ち、全員がひとつのチームとなって挑戦していきましょう。

ひとつづくり室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 ひとつづくり室
副理事長 本多 高明

本年度、大森理事長より、ひとつづくり室副理事長という大役を仰せつかり責務と重責を強く感じております。新型コロナウイルスが沈静化した今、圧倒的な結束力を発揮し活動をしていかなければなりません。入会して3年未満の会員が大半を占めるなか2024年度も20名を超えるメンバーが卒業を予定しており、ひとつづくり室の責務を強く感じております。同時に会員拡大は我々会員の責務であり決して人任せにはしてはいけないことであると認識しています。コロナ禍から脱した今だからこそ、コロナ前に立ち還り先輩諸氏が大切に受け継がれてきた礼儀礼節を重んじ、利他の心をもって全ての物事を突き詰めて活動していきましょう。

会員研修委員会は新会員を指導するだけの委員会ではありません。会員の誰もがひとつづくりに触れ、学びと成長を提供しなければなりません。岡山JC三信条を突き詰め、岡山の明るい未来のために、最適な手法を取り入れ岡山青年会議所の理念を受け継いでいく人財を磨きながら、新たな知見と魅力を備え周囲の人々に寄与していきましょう。

最後になりますが特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

まちづくり室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 まちづくり室
副理事長 津島 周史

大森理事長よりまちづくり室副理事長という大役を仰せつかり、重責に身が引き締まる思いです。全力で大森理事長をお支えし職務にあたる所存です。

交通の要衝であり、恵まれた気候から、歴史と文化を築きながら発展してきた岡山市は地元のスポーツを始めとして多くの可能性を秘めているまちです。そのような岡山の可能性を発揮するにはそのまちに住む市民が郷土を想い、自らのまちのために能動的に活動しなければ成し得ることはできません。その市民や他団体を巻き込むためには若者である我々が豊かな発想力と圧倒的な行動力でまちづくりに取り組む必要があります。そのまちづくりには多くの方がおのずから参加したくなるような斬新で興味をそそられる仕掛けが必要です。岡山の市民一人ひとりが自分のまちに主体性を持ち、行動したくなるようなまちづくりを我々が結束力をもって創り上げましょう。

また、岡山の未来を築くにはまちの宝である青少年の育成が重要です。彼らの育成に寄与するチームシップを学べる環境を我々で創り上げましょう。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

連携室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 連携室
副理事長 妹尾 愛希

本年度、大森理事長より副理事長の職を仰せつかり、その重責を強く感じております。粉骨砕身の想いで大森理事長をお支えする所存です。連携室は木村委員長率いる「地域の結束力強化委員会」杉岡委員長率いる「うらじゃ委員会」を担当させていただきます。様々な活動を通して会員相互の成長を実感できる室にしていきたいと思います。

岡山青年会議所活動の価値の一つは、様々な立場や価値観の人材と出会えることです。郷土おかやまの未来をより良くするために、ネットワークの幅を広げ、多くの他団体と連携を強化し力を合わせて事業や運動を行ない、それぞれが単体では為し得なかったことを実現してまいります。

岡山の夏の風物詩「うらじゃ」は諸先輩方の思いとともに成長を続けてきました。コロナ禍には開催困難な年もありましたが、本年は通常開催ができるものと思っております。大きな障壁を乗り越えたからこそ、次世代の市民に愛されるまつりとしての価値の継承と人と人、まちと人の絆が結束し、更に関わり続けたいとなる「うらじゃ」にしていくことをお約束いたします。

最後になりましたが、特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

交流室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024 度 交 流 室
副 理 事 長 三 垣 章 一

本年度、大森理事長より交流室副理事長の職を仰せつかり、光栄に感じると共に責任の重さを強く感じております。大森理事長の思い描く最高の一体感を持った岡山青年会議所を体現するため本郷常任理事、滝波委員長率いる例会委員会、二垣委員長率いる渉外委員会と共に全力で邁進する所存です。

コロナ過が終わり、ようやく通常通りの日常が戻ってきたと感じています。しかし、3年間という交流の空白は岡山青年会議所が大切にしているおもてなしの歴史、文化、精神等、メンバーにとって慣れ親しんだ大切な物を奪うには十分な時間だったといえます。今こそ交流の機会において本当に大切な物が何なのかを会員全員が見つめ直す必要があると思います。答えはきっとひとつではないでしょう。様々な答えが議論を重ねひとつになった時、その答えには確かにおもてなしの精神が宿っているはずです。

最後に大森理事長が掲げる人と人、まちと人の絆をさらに深める岡山の実現に向けてこれまでの手法にとらわれることなく、対内外を問わず関わった「ひと」や団体に学びの機会を与え、感謝の心を持って接することで強い信頼関係が結ばれる。そんな素敵空間を創出する交流室に導いてみせます。

未来室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 未来室
副理事長 青山 雅史

大森理事長より未来室副理事長という大役を仰せつかり、大変光栄に思うと同時に責務と重責を強く感じています。

岡山青年会議所は74年間、単年度制という不連続の連続の中で、影響力のある組織として存在し続けるために、このまちの「未来」を創造して活動をしてきました。

会員数も増加し精力的に対外的な事業の実施ができる状況になった「今」だからこそ、所属している会員が「今」以上に誇りをもって活動できるよう、対内に向けた事業を実施することが、岡山青年会議所の更なるブランディングになると確信しています。

また、我々が40歳という限りある青年会議所活動を行っている以上、会員拡大はLOM全体の最も重要な事業と言っても過言ではありません。

会員拡大に対する高い意識を常に持ち続けるためには、会員減少の時期から増加に動いてくださった先輩方の想いを引き継ぐことが大切です。

我々がこれからの岡山青年会議所の「未来」を築く存在であるという気概で、会員拡大に対する意識を抜本的に変え、結束力をもち会員全員で拡大活動に取り組んでまいります。

最後になりましたが、特別会員、現役会員皆様には、より一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

総務室

専務理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 総務室
専務理事 大塚 真弘

この度、公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度、専務理事の大役を拝命し責務の重さを強く感じております。大森理事長をお支えするのはもちろんのこと、組織全体に目を向けてメンバー全員を支える強い覚悟で挑戦を続けていく所存です。

総務室といたしましては藤原委員長率いる総務委員会と共に伝統に敬意を持ちつつ、組織にとって最も大切な「人」が成長して輝きを放ち、持続的に挑戦をすることができる機会の提供ができる土台を作るべく、全力で活動してまいります。

また、岡山青年会議所にも多様な個性を持った会員が増えています。会議や組織運営においても手法が多様化している現状があり、公益法人としてコンプライアンスの徹底、会計の明瞭さなど、社会の模範となり信頼の得られる組織であるよう努めていかなければなりません。そのためには健全な運営と成長を促して一人ひとりが常に岡山青年会議所の扇の要であるという認識を強く持ち、岡山青年会議所のブランド価値を高めていきます。

結びになりますが、人と人、まちと人の絆をさらに深める岡山の実現に向けて特別会員、現役会員の皆様におかれましては一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

まちづくり室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 まちづくり室
常任理事 諏訪 智彦

本年度、まちづくり室常任理事の大役を仰せつかり、責務と役割の重さを強く感じております。津島副理事長をはじめ、五十嵐委員長、瀧崎委員長と力を合わせ、まちづくりを通じて、岡山の未来を築いてまいる所存です。

岡山青年会議所の役割とは、多くの可能性を秘めた岡山市の魅力を、事業を通じて発信し、まちを活性化させることです。単年で終わらせず、継続性のある事業を私たちの発想力と行動力をもって生み出すことが、今後の岡山を築く我々の活動意義でもあります。この実現のためには、岡山青年会議所単体ではなく、地域や他団体、多くの市民が我々の活動に賛同し、共に力を合わせ運動できる仕組みを作らなければなりません。そのためには、まず我々自身が郷土の魅力を再認識し、未来を担う青少年を育成する環境を創出することが、使命だという認識を持つ必要があります。いつの時代にも誰からも必要とされる圧倒的な結束力と、リーダーシップを兼ね備えた団体を目指し全力で活動に取り組み、人と人、まちと人の絆をさらに深めていきます。

末尾となりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

連携室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 連携室
常任理事 竹中 広太

本年度、大森理事長より常任理事の職を仰せつかり、重責に身が引き締まる思いです。全力で大森理事長をお支えする所存です。妹尾副理事長よりご指導いただき、木村委員長率いる地域の結束力強化委員会と杉岡委員長率いるうらじゃ委員会を担当させていただきます。活動を通して会員同士の結束を高め会員相互の成長を実感できる室にまいります。

様々な立場や価値観の人材と出会える機会の多さが岡山青年会議所の魅力であり価値です。その価値を最大限に活用し他団体と連携していくことで、それぞれが単体では為し得なかったことを実現してまいります。他団体との結束を強化し切磋琢磨していくことで郷土岡山のより良い未来へとつなげていきましょう。

岡山の夏の風物詩である「うらじゃ」ですが、コロナ禍には中止や縮小開催という判断をせざるを得ない時もありました。この貴重な風物詩を次世代へ受け継いでいくためにも我々が連携の中心となり、誰からも愛される「うらじゃ」にしていくことで人と人、まちと人の絆をさらに深めていきます。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様にはより一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

交流室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 交流室
常任理事 本郷 昌一

交流室常任理事の大役を拝命し、その重責を強く感じております。理事長の想いを達成するために、三垣副理事長を補佐し、滝波委員長、二垣委員長と共に結束力を高め、強い絆で結ばれた岡山青年会議所を創出するために尽力してまいります。

近年、交流の場は著しく変化し、集うことへの制限からオンラインの交流が当然になりました。これは、時間対効果を考えると大きな成果である反面、膝を突き合わせるからこそ得られる強い絆があることも事実です。これまでの変化を検証し、新たな交流の場を築いていきます。

メンバーが一堂に会する例会、そして他 LOM や先輩諸氏との交流は、友情を深め結束力を高める貴重な機会です。礼儀礼節を重んじ、感謝の心で設営することと、目的意識をもって参加することで、学びと成長の場となるような運営を行います。

岡山青年会議所をより強靱な組織とするために、真の友情を育み、成長の場となるのが交流です。交流の場を圧倒的な結束力を生み出すことができる機会とし、人と人、まちと人の絆をさらに深めていきます。

末尾となりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

総務室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 総務室
常任理事 大北 大士郎

本年度、大森理事長より総務室常任理事という大役を仰せつかり、万謝すると同時に重責を強く感じております。大塚専務理事が牽引する総務室では総務委員会の藤原委員長とともに、メンバー全員が誠実かつ積極的に何事にも挑戦できる環境を整え、まちの発展のために我々総務室が一丸となって社会的信頼を築き上げます。

本年度の総務室は大森理事長の掲げる「会員にとって豊かな将来につながるよう、伝統に敬意を持ちつつ圧倒的な結束力を持つ岡山青年会議所」を実現するべく新たなメンバーや個性的なメンバーの強みを活かし、全員がひとつのチームとなり地域や各団体を牽引し圧倒的な事業をまちに展開、発信します。そのために組織全体に目を向け、地域から頼られ愛される団体となる体制づくりや運営に取り組んでまいります。時代の変化に伴いその瞬間に求められているものを即座に取り入れるとともに、決して変わることのない岡山青年会議所の歴史と伝統を重んじる「扇の要」として規律性を高め、人と人、まちと人の絆をさらに深めていきます。最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ひとつづくり室

会員研修委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 ひとつづくり室
会員研修委員会
委員長 本多 高明

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった3年間で人と人との距離をとらざる得ないうえ、本来受け継がれていた、ひとつづくりの本質を十分に伝えきれない状況が続きました。だからこそコロナ前に立ち還り先輩諸氏が大切に受け継がれてきた礼儀礼節を重んじ、利他の心をもって全ての物事を突き詰めて活動していく必要があります。

本年度、会員研修委員会では、まず青年経済人としての礼儀礼節やマナー、考え方の基礎を学ぶべく新会員勉強会を実施します。そして毎月の委員会では、岡山の経済界や地域社会を牽引する特別会員の先輩と JCI 日本公認のトレーナーにご講演をいただくことで、岡山青年会議所の活動意義、リーダーシップやフォロワーシップ、利他の心と JC の目的や意識を学ぶ機会を創ります。最初のプログラムとして3分間スピーチを実施します。徹底的に自分自身と向き合い、互いに支え合うことで自己成長のビジョンを明確化し、決して一人では体験できない自己修練を創出いたします。2つ目のプログラムとして、新会員全員で困難に立ち向かい、その過程のなかで切磋琢磨し日常生活では得難い感動体験や友情・絆・結束力の芽生えを創出します。最後のプログラムとして LOM サービス事業の企画・運営を通して岡山青年会議所の事業運営の基礎を体感し、礼儀礼節とおもてなしに溢れる設営や利他の心を学び、困難の先には大きな成長と、真の友情が築かれ新たな魅力と力を備えてもらいます。研修プログラムだけでなく JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM 事業、同好会にも積極的に参加することの意義を伝え、参加することでの気づきや学び、多くの価値観に触れるとともに、各地会員会議所のメンバーとの出会いを通して更なる成長の機会を創出します。

これらの研修プログラムの目的を明確にして全会員にも岡山青年会議所の不易である、ひとつづくりを伝えながら岡山の明るい将来を築くため時代に合わせた最適な手法を取り入れ伝統に敬意をもちつつ圧倒的な結束力を持ち、全員がひとつのチームとなるよう挑戦してまいります。

まちづくり室

結束力あるまちづくり委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 まちづくり室
結束力あるまちづくり委員会
理事委員長 五十嵐 尚輝

私たちが住み暮らすまち郷土おかやまは、災害が少なく温暖な気候に恵まれた地域であり、「陸・海・空」の交通面においても全国的に恵まれた土地です。また、気候や交通の利便性だけではなく歴史と文化から多くの可能性を秘めている「まち」です。近年では行政や地元企業、諸団体などが対内外に向けて岡山の土地の有効性や魅力について積極的な発信を行っております。しかしながら、市民の一人ひとりに他県にはない郷土の強みや魅力が認知し実感できているとまでは言えないのが現状です。

結束力あるまちづくり委員会では、市民が「知る・体験する・行動する」が一貫してできる事業を展開します。まず私たちが、郷土おかやまの地理や気候を知ることと他県にはない強みを理解し、郷土おかやまの魅力を存分に活用した事業を実施します。その結果、郷土おかやまへの誇りを感じ、地域活性化することを目指します。次に、郷土おかやまの魅力ある資源を歴史から紐解き、地域が抱える課題についても掘り下げることで、それを解決に導く事業を展開します。そのことにより、まちの地域課題解決の過程において未来へのまちづくりを創造し、郷土おかやまに大きな足跡を残すことを目指します。そして、全ての事業において若者らしさを前面に押し出し、失敗を恐れずに「斬新な発想力・積極的な行動力」をもって、皆が参加したくなるような興味がそそられる仕掛けづくりにトライしていきます。市民や行政、地元企業・諸団体を巻き込み、岡山青年会議所が中心だからできる取組みを行うことで、使命感と誇りから事業を推進する側、参加する側、双方が主体性を持つことができ、まちづくりのこれからのための活動を目指します。

岡山青年会議所が中心となり、市民一人ひとりが主体性を持ったまちづくりを実現することで、未来に向けて結束力ある「まち」になり地域が活性化することと確信しております。そのために、我々は全てのつながりを大切にすることによって、圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めていけると確信しています。

まちづくり室

チームシップ推進委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 まちづくり室
チームシップ推進委員会
理事委員長 瀧崎 純

私たちが暮らす岡山は、交通の利便性が高いことに加え、年間を通じて温暖な気候と、災害の少なさにも恵まれている魅力ある「まち」です。しかし「まち」の財産である青少年が、この魅力ある岡山を十分に理解できておらず、岡山の将来の人材に希望を与えきれていない課題があります。この課題解決に向けて、能動的な働きかけや、きっかけづくりが求められています。そのためには、岡山の将来を担う青少年たちが郷土愛を持ち、未来への希望に満ち溢れた人材へと育成する環境を整える必要があります。

チームシップ推進委員会では、将来の岡山を担う青少年の育成につながる事業を展開します。まずは青少年に対してスポーツを通じて、将来の希望や夢を持ち、自身の可能性を発掘できる環境を整えてまいります。同時に心身の健全な発達を促し、自制心を培うとともに、仲間や指導者との交流を通じて、豊かな心と他人に対する思いやりも育む環境を創出します。また、岡山の企業など様々な組織や団体と連携し、青少年が夢を持つことの大切さを感じることができ、岡山の長所を活かした事業を展開いたします。さらに、これらの事業を通して「まち」の魅力を知ってもらい、継続した地域社会や他の団体を巻き込める仕組みを構築して、環境を整えてまいります。そのためには、私たちが率先して結束し、青年経済人の強みでもある柔軟な発想力と行動力を持って、誰もが主体的に事業に参加したくなるような事業を構築することで、青少年に真摯に向き合える環境を創出します。さらに、会員と共に事業の達成に向けて果敢に挑戦することで、会員全員の成長だけでなく、岡山の未来を担う人材を輩出するきっかけをつくり、岡山青年会議所の価値をさらに高めてまいります。

岡山の未来を担う青少年が夢を持ち、郷土愛を育み、未来への希望が持てることは何をおいても重要なことです。当委員会が岡山の魅力を存分に活かした「まち」の将来を担う青少年が育成できる環境をつくり、圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めてまいります。

連携室

地域の結束力強化委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度連携室
地域の結束力強化委員会
理事委員長 木村 勝也

新型コロナウイルスの影響が沈静化し、本来の日常を取り戻しつつある中で、地域の課題として、人と人のつながりの薄さや地域経済の活性化が挙げられます。この課題を解決し地域をより良くするためには、様々な団体が連携することが重要です。感染防止のための社会的な距離が生まれ、本来であれば受け継がれていたものが途絶えつつある今こそ、私たち岡山青年会議所はより多くの団体との結束力を強化し、地域を牽引していく必要があります。

岡山のまちを考える多くの団体が、それぞれの分野で献身的に活動しています。地域の発展や課題解決には一つの団体だけではなく、多様な視点や専門知識を持つ異なる団体が協力し合うことが重要です。多くの社会課題に直面する今こそ、私たち岡山青年会議所は、豊富な経験と様々な団体との関係を築いてきた実績を持つ組織として、より多くの団体と市民を結びつけ、地域の結束力をより一層強化する使命を果たさなければなりません。当委員会では、行政をはじめとした様々な団体との連携を重視し、地域の結束力を強化して共同で事業構築を行います。多くの異なる団体が協力し情報や知識を共有することで、地域の発展に拡張性が生まれ、より効果的な活動が可能となります。そして強固な結束力を築くことで、多角的な視点から地域に根差した事業を行います。

また、青少年の育成と持続可能な地域づくりを推進し、子供達のために大人が力を合わせられる社会を醸成し、地域全体で子供達の希望を育む環境づくりを目指します。未来のまちを担う地域の宝である青少年には、社会性や地域の結びつきなど実社会で大切なことを学ぶ機会が必要です。子供達が豊かな心を持ち、様々なことに挑戦する青少年として成長するよう、未来への希望を築く事業を行います。

他団体と連携し地域の結束力を強化し、まちの課題に取り組むことで、岡山の未来に向けた継続的な活動を実現します。郷土おかやまの未来が発展するため、我々が圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めていけると確信しています。

連携室

うらじゃ委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 連携室
うらじゃ委員会
理事委員長 杉岡 裕

「うらじゃ」は、「共生と融和」をテーマに先輩諸氏の郷土おかやまへの想いと、未来への情熱により創り育てられ、継承されてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの踊り連が規模の縮小を余儀なくされており、まつり自体の規模もコロナ禍以前には遠く及んでいない現状があります。「うらじゃ」を今まで以上に岡山の市民から愛されるまつりにしていかなければなりません。

コロナ禍を乗り越えた今こそ原点に立ち還り、これまでに開催された28回の「うらじゃ」に携わった先輩諸氏の想いを汲み取り、市民を巻き込んでまつりを盛り上げていくことが重要であると考えます。そうした活動を通して、過去から継承されてきた要素を時代の流れに合わせて変化させ、より盛り上がる「うらじゃ」を創っていきます。そして、岡山の観光資源として観光客を呼び込めるまつりを目指します。まつりの設営・運営を行う実行委員会では、今後のまつりの在り方を熟考した上で、市民だけではなく岡山を訪れる観光客も楽しめる設えを整えていきます。踊り子、観客、運営スタッフの誰もが楽しむことができるまつりにするために、あらゆる手法を検討し、現状に合わせて柔軟に対応していきます。また、振興活動では、「うらじゃ」の魅力を広め、多くの市民から注目を集めていくために、各メディアや行政と連携し、踊り連やボランティアを巻き込んだ広報活動を行っていきます。そして、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のあるまつりにしていくことで、将来に渡って「うらじゃ」に関わり続ける人財を育成していきます。市民が「うらじゃ」というまつりに誇りを持ち、ひとつの文化として受け入れられるよう、その環境を整えていきましょう。

私たち会員一人ひとりがこれから先の「うらじゃ」に想いを馳せて行動し、岡山の夏の風物詩を次の世代へ引き継いでいかなければなりません。より多くの市民から愛されるまつりであり続けるために、圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めるよう邁進してまいります。

交流室

例会委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 交流室
例会委員会
理事委員長 滝波 深介

社会全体に多大な影響をもたらしたコロナ禍が過ぎ去り、世の中はようやく本来の日常を取り戻してきました。そして以前のように交流を深める機会を創り出すことができる日々がやってきた今、例会での交流の機会は全会員が同時に学び成長でき、結束力を高める必要があります。

例会とは、私たちが青年会議所活動を行う基盤となる場であり全会員が、ただ参加するだけではなく、学びがあり成長できる目的意識を持って参加できる例会設営を行います。先人達が紡いできた青年会議所の品格のある立ち居振る舞いを徹底し、例会の緊張感を高めます。そして全会員が参加する例会の魅力を最大限に活かし、委員会の枠を超えて普段交流できていない会員とも交流でき、さらに絆を深めることによって全会員がひとつとなる例会を実現させます。また委員会・出向者・同好会報告をより意味のあるものにするために、事前に情報の共有を行い会員相互の活動をより理解できる場を創出します。また特別会員の皆様と親睦を深められる機会を創ることで受け継がれる不易を学び、現役会員として全会員が「おもてなしの心」「礼儀礼節」「感謝の心」を持ち設営を行います。各地会員会議所との相互の活動を共有し理解を深めることで、会員同士を知ってもらう貴重な交流の場として、幅広く結束力を高める機会を創ります。地域の皆様に学びと成長や将来へのきっかけとなる機会を創ることで、私たち自身も学びを得て成長できると共に、岡山青年会議所が市民やまちに意義ある団体であることを広めることにより、組織の質を高め、創造性のある団体となり、さらに存在価値を高めることができます。そして、59年生まれの卒業生のために今までの青年会議所での思い出を振り返る場を提供し、現役会員が59年生まれの卒業生を最高の形で送り出せる場を創出します。

コロナ禍が過ぎ去り交流することが可能になった貴重な時間を最大限に活かし、岡山青年会議所の全会員の成長と友情を育み圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めていけると確信しています。

交流室

渉外委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 交流室
渉外委員会
理事委員長 二垣 幸広

世界人口が 80 億人を超える中、現代人が生涯で出会える人数は約 3 万人とされています。青年会議所の財産は「ひと」であり、自身の学びや成長につながる強力な個性をもち合わせた会員が数え切れないほど在籍しています。同じ志をもった同世代の仲間が、限られた時間の中で人生を豊かにするため、先人たちが築き上げてきた精神と現代技術を融合させた新たな「ひと」との出会いの場を創出していかなければなりません。

本年度の渉外委員会は、青年会議所のネットワークを最大限に活かした会員交流の機会を提供してまいります。日本青年会議所や JCI が主催する事業には、実施内容のみならず開催意義や現地の魅力を伝えることで、より多くの会員に足を運んでいただきます。岡山青年会議所を代表して出向する会員には敬意を表し、LOM 活動では味わうことのできない経験を共有していただくことで、誰もが出向したくなる能動的な意識醸成を図ります。スポンサーLOM・友好LOMとの交歓会では、各LOMの特色や所属する会員に焦点を当てることで、LOM単位での関係強化を構築することは勿論のこと、会員個々における一生涯の友情を育む機会を提供いたします。継続的な交流が途絶えていた姉妹LOMにおいては、締結の成り立ちや意義を再認識し、顔を合わせ話をするすることで、双方に有益になる今後の関係性を構築していきます。本年度卒業される会員には、自身の青年会議所活動を振り返っていただき、特別会員の皆様との交流の場を設けることで、卒業した後も岡山青年会議所の発展にご尽力いただける人材となる切っ掛けを提供させていただきます。さらには、理事長及び執行部の皆様が、円滑に業務を遂行できるよう支援をすることで、効果的な青年会議所活動が可能となります。

「ひと」は「ひと」でしか磨かれません。会員同士が出会い、切磋琢磨し学びを得ることが組織力向上の礎であり、地域活性化の一助となります。青年会議所に潜在する無限の可能性を提供することで、圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めていけると確信しています。

未来室

ブランディング委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 未来室
ブランディング委員会
理事委員長 久保 和裕

近年、岡山青年会議所は会員拡大活動により会員数が増加し、多様なバックグラウンドや個性を持つ新たな会員も増えてきました。そのような今だからこそ、組織全体が共通の目標に向かって活動する意識を高めるための機会を提供する必要があります。会員が団体に所属していることへの意義を感じてもらい、岡山青年会議所の魅力を内外に発信するとともに同志を増やしていくことが求められています。

本年度のブランディング委員会では、会員が誇りを持ち活動に取り組み、岡山の魅力を発信し、内外でのブランディングを強化していきます。新年賀詞交歓会では、新しい年を迎える貴重な機会です。この機会を活かし、特別会員や来賓者、来訪JCの皆さんに対し、組織のビジョンや将来の展望を明確に伝えます。また、従来との演出にとらわれず新しい表現方法を試みることで、新たな感動や驚きを感じてもらい、会員の意欲を高めます。さらに、コロナ禍で交流が減少していた特別会員との関係をより深め、協力体制の強化をお願いします。広報活動では、広報誌「暖流」やSNSを活用し情報発信を行います。近年、SNSは情報発信や共有の有効な手段となっており、岡山青年会議所の活動を広く知らせるために効果的に活用する必要があります。活動の様子や会員の取り組みなどを発信することで興味や共感を引き起こし、多くの人々に活動を知ってもらいます。さらに、地元のマスメディアとの関係性をより深め、事業の背景や目的を的確に伝え、記事やニュースに取り上げてもらうことで、活動をさまざまな方面に発信することができます。会員向けの事業では、会員同士が委員会の垣根を越えて親睦や交流ができる企画や異業種との交流会を実施いたします。

会員が岡山青年会議所に所属している意義や楽しさを感じてもらい、満足度を高め、一人ひとりが活動に誇りを持ち全力で取り組み、岡山の新たな魅力を発信し、再発見することで内外のブランディングを向上させるとともに、圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めていけると確信しています。

未来室

メンバーシップ向上委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 未来室
メンバーシップ向上委員会
理事委員長 中西 大輔

我々が40歳という限りある青年会議所活動を行っている以上、組織の持続性を保つために会員拡大はLOMにとって、もっとも重要な事業と言っても過言ではありません。会員拡大活動を実施するには、会員一人ひとりの意識の向上と結束力の向上が不可欠です。会員拡大活動を通して、自身の活動に対して意識を高め、青年会議所活動をする必要があります。

会員拡大の重要性についての講演を特別会員の方にお願ひします。特別会員が何故会員拡大に尽力したのか、何故会員拡大が必要なのかを根幹からお伝えいただきます。また、講演をお願ひした特別会員との懇親会の場を設け、一方的にお伝えしていただくだけでなく、現役会員との対話の機会を設営することで、特別会員との絆も深めていきます。会員拡大の大切さを認識していただくことで、会員一人ひとりの意識を向上させLOM全体として会員拡大を行っていく風土作りをしていきます。岡山青年会議所に所属している価値を高めるため、外部講師との交流や講演会を実施します。新しい価値観や気づきを持ち帰れる機会を設営し、岡山青年会議所に所属している価値を高めることで、意識の向上を行います。また、LOM全体で会員拡大活動に取り組みやすくするために、情報の共有、拡大活動への同行、入会までの書類の準備、面接の準備を行います。会員拡大の重要性や具体的な取り組み方法や拡大対象者についての情報共有を、各委員会を訪問する形で行います。拡大が決まった方に対してはスムーズに入会ができるように準備を行います。会員拡大活動の負担を軽減し、LOM全体が取り組めるように促します。以上の取り組みを通じて、会員拡大に向けた意識の変革を図り、LOM全体で結束して会員拡大を進めていき、組織の未来を築いていきます。

LOM全体が会員拡大の重要性に対して高い意識を持ち、次の世代に継承していく姿勢を作ります。「過去」「現在」「未来」の継承を図り今年一年を実りあるものにしていき未来へと繋ぐため、委員会メンバーが圧倒的な結束力を持ち、ひとつのチームとなり挑戦していきます。

総務室

総務委員会 事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 総務室
総務委員会
理事委員長 藤原 由季子

岡山青年会議所は、創立以来、「まち」の発展に向けて率先して行動する「ひと」を育て、郷土おかやまの発展に寄与してきました。コロナ禍を脱却した今、我々は郷土おかやまのさらなる発展に向けて、未来を切り拓くリーダーとして先導的な役割を果たすことが求められています。我々の活動がより一層地域からの信頼を得るためには、時代に即した盤石な組織体制を構築し、柔軟な組織運営を行うことが必要不可欠です。

本年度の総務委員会は、財政規則審査会議と手を携え、公益団体であることへの強い認識を持ち、規律を重んじるとともに社会情勢に即して柔軟性をもった組織運営に努めてまいります。総会や理事会の会議運営では、定款に沿った適切な運営や資料作成を徹底いたします。また、総務委員会は全事業に横断的に関わることができることから、委員会が上程する事業計画等の資料に対し、担当委員会に寄り添う気概を持って財政、規則及び公益について、事前に各自指摘事項を挙げて会員同士で共有することに加え、資料の精度を上げて会の円滑な進行に尽力するとともに、質の高い事業構築につなげます。加えて、総務委員会の会員は、役職の有無にかかわらず組織全体に目を向け、自分事として全ての活動や事業運営を支えます。予定者セミナーでは委員会の委員長、副委員長、幹事に職責を理解していただくとともに、会員全体の資質向上や横の連携の構築につなげます。シニアクラブ総会、代表世話人会を通じて先輩諸氏の卒業後のご活動に触れ、歴代理事長会議を通じて、歴史や伝統を学び後世に引き継ぎ、今後の活動に活かす学び多い設営を行います。各種マニュアルや書式の整備については、財政規則審査会議と連携し、組織としての社会的信頼を得られるよう随時改訂を行います。

まず、総務委員会が「扇の要」としての職責を理解し、歴史と伝統を重んじつつ時代に即した斬新な発想を取り入れた活動に各委員会が挑戦できるよう支えることで、我々が圧倒的な結束力を発揮し、人と人、まちと人の絆をさらに深めていけると確信しています。

監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 監事 中村 彰宏

2024年度、大森理事長より公益社団法人岡山青年会議所の監事を仰せつかり、その重責を強く感じております。歴史と伝統ある岡山青年会議所の監事として、百折不撓の覚悟で職務を全うする所存です。

圧倒的な結束力と、リーダーシップに満ちあふれた岡山青年会議所を具現化すべく、監事という俯瞰的な視点から、時代の変化とともに更なる継承と進化が求められている組織自体のあり方について、総合的に監査いたします。更には社会的にもより信頼の得られる組織であるために、コンプライアンスをはじめ公益性、財政面など、時代に先駆けた組織運営の追求に尽力いたします。また単に監査をするだけではなく、大森理事長の基本理念および基本方針に沿った事業を展開し、俯瞰的立場を利活用しながら、これまでの活動で得た経験や考え方をメンバーにしっかりと伝えてまいります。

地域社会が新型コロナウイルス感染症の影響下から離れて新たなスタートを切ろうとしている今こそ、これまでの学びを活かし、新しい時代を築く一員として、明るい豊かな社会の創造に邁進してまいります。

最後に特別会員および現役会員の皆様、関係各位の皆様にはより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 監事 幡山 益聖

この度、公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度、監事の大役を仰せつかり、その重積を強く感じており、改めて身の引き締まる思いであります。

VUCA 時代と言われる先行きが不透明で将来の予測が困難な状態である今、公益社団法人格を有する団体として、今の時代に何が求められているのか、公益性の資質は勿論のこと、時代に即した運動が出来ているのかを見定めていかなければなりません。継承と進化が求められている今、組織自体のあり方について、しっかりと監査をしてまいる所存でございます。また、監査だけではなく、今まで経験したことや学んだことを最大限に発揮して、大森理事長が思い描く岡山青年会議所の実現に向けて、全力で支え、2024 年度の運営に携わってまいります。

最後になりますが、「備えよ常に」の気持ちを大切に、厳しいだけの監事ではなく、メンバーが今より成長できるように様々な角度から皆様にお伝えし、誠心誠意、責務を全うする所存でございます。敬愛する先輩諸氏ならびにメンバーの皆様におかれましては、本年度も倍旧の指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所
2024年度 監事 前田 淳

本年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事という大役を拝命し、身の引き締まる思いです。昨年同様の役職を担う立場として反聴内視し、2023年度の活動を活かし、より組織の為に尽力して参ります。そして2024年度は私の卒業年度でもあり、これから残るメンバーへ、今まで以上に岡山青年会議所にとっての不易と伝統を伝えていく所存です。組織図で表されるように、俯瞰的な立場で組織と向き合う唯一の役職として、「まち」や時代が求めているものか、岡山青年会議所が本当に行うべき事業なのかを鋭意監査して参ります。また、講評では、相手の成長を願う厳しい講評に努めること、その内容が受け手に考えてもらえる波紋を広げるような講評をして参ります。

最後になりますが、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【会員研修委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・ 青年経済人としての礼儀礼節・マナーの研修
- ・ JCI Creed・JCI MISSION・JCI VISION、JC 宣言・綱領、岡山 JC 三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・ 講師委員会の開催
- ・ 3 分間スピーチの実施
- ・ 団結して困難に立ち向かい、切磋琢磨しながら一つのことを為すことにより友情を築くプログラムの実施
- ・ LOM 内親睦事業の企画・運営を通して、礼儀礼節とおもてなしに溢れる設営や利他の精神を学ぶプログラムの実施
- ・ コミュニティプラザの開催
- ・ 他委員会への委員会訪問の実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【結束力あるまちづくり委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 岡山の魅力発信、地域活性化事業の企画・実施
- ・ 郷土おかやまの魅力再発掘、地域活性化事業の企画・実施
- ・ 災害時における対応
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【チームシップ推進委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 青少年の可能性を広げ岡山の人財の結束を育む事業の企画・実施
- ・ 地域課題解決を図る人財育成事業の企画・実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【地域の結束力強化委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 地域との結束力を強化する事業の企画・実施
- ・ 他団体との結束力を強化する事業の企画・実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【うらじゃ委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ うらじゃ開催支援広告募集の企画・実施
- ・ うらじゃ振興活動の企画・実施
- ・ 今までのうらじゃの検証と市民との結束を強化する事業の実施
- ・ 報道機関への対応および行政・報道機関意見交換会の検討・実施
- ・ 第 29 回うらじゃ実行委員会への参画
- ・ うらじゃ振興会への参画・県外への PR 活動
- ・ うらじゃ実行委員会 総務部会 業務マニュアルの更新
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【例会委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ ブロック会長公式訪問例会企画・設営・実施
- ・ 企画例会企画・設営・実施
- ・ 特別会員・現役会員合同例会企画・設営・実施
- ・ 市民公開例会企画・設営・実施
- ・ さよなら例会企画・設営・実施
- ・ 前期例会企画・設営・実施
- ・ 後期例会企画・設営・実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【渉外委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 出向者を支援する事業の企画・設営・実施
- ・ スポンサーLOM・友好 LOM との連絡調整及び交歓会の企画・設営・実施
- ・ 姉妹 LOM との積極的交流の推進
- ・ 昭和 59 年生まれ卒業事業の企画・設営・実施
- ・ ASPAC、世界会議への積極的参加を促す手法の検討・構築及び参加の取りまとめ
- ・ 理事長及び執行部の各事業・諸大会参加の支援
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【ブランディング委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会の実施
- ・ 会員に向けた事業の実施
- ・ 対内・対外的な広報の見直し及び検討・実施
- ・ 広報誌「暖流」の発行
- ・ ホームページ制作・運用
- ・ 報道機関への対応及び行政・報道機関意見交換会の検討・実施
- ・ 情報公開の精査と実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【メンバーシップ向上委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 会員拡大の重要性について LOM に対して伝達
- ・ 岡山青年会議所に所属する価値を伝える
- ・ LOM として拡大できるような風土作り
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2024 年度 委員会職務分掌

【総務委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 会計経理事務及び慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・ 総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成・管理
- ・ 各委員会事業計画、収支予算、補正予算並びに事業報告、収支決算の内容精査と各会議への上程資料精査
- ・ 議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・ 収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予算、補正予算、中間決算の実施
- ・ 2024 年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成及び追加
- ・ LOM 年間スケジュールの作成・確認
- ・ 理事長公職の整理・調整
- ・ 個人情報管理及び管理データの見直し
- ・ 理事合宿、理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事予定者セミナーの企画・設営・開催
- ・ シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・ JCI 日本への入会促進
- ・ JCCS への登録促進
- ・ JC ルーム・倉庫内の備品管理と発注
- ・ 情報公開の精査と実施
- ・ 事業報告書のデータ保存・管理
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
岡山青年会議所	例会	16日(火) 例会① バッジ授与式	7日(水) 例会② 3分間スピーチ	6日(水) 第一例会③ 総会① ミニフェ 21日(水) 第二例会④ プロダクト会長公式訪問例会	10日(水) 例会⑤	8日(水) 例会⑥	5日(水) 例会⑦	3日(水) 第一例会⑧ 総会② バッジ授与式 17日(水) 第二例会⑩ 総会③ チャレンジスピーチ	7日(水) 例会⑨ 総会④ 3分間スピーチ 理事選挙	4日(水) 例会⑪ ミニフェ	9日(水) 例会⑬	6日(水) 例会⑫ 出向者報告	4日(水) 第一例会⑭ さよなら例会 25日(水) 第二例会⑮ 総会⑤ ファミリー家族会 (親睦事業)
	執行部会議	5日(金) 第1回 執行部・理事合同会議	5日(月) 第2回	4日(月) 第3回	8日(月) 第4回	7日(火) 第5回	3日(月) 第6回	3日(水) 第7回 執行部・理事合同会議 17日(水) 第8回 執行部・理事合同会議	5日(月) 第9回	2日(月) 第10回	7日(月) 第11回	6日(水) 第12回	12日(水) 第13回 執行部・理事合同会議
	理事会	1日(月) 新年理事会 5日(金) 第1回 執行部・理事合同会議	13日(火) 第2回	11日(月) 第3回	15日(月) 第4回	13日(月) 第5回	10日(月) 第6回	3日(水) 第7回 執行部・理事合同会議 17日(水) 第8回 執行部・理事合同会議	16日(金) 第9回	9日(月) 第10回	15日(火) 第11回	18日(月) 第12回	12日(水) 第13回 執行部・理事合同会議
	総務委員会	2023年12月18日(月) 第1回 22日(月) 第2回	26日(月) 第3回	25日(月) 第4回	22日(月) 第5回	27日(月) 第6回	24日(月) 第7回	8日(月) 第8回 29日(月) 第9回	26日(月) 第10回	24日(火) 第11回	28日(月) 第12回	25日(月) 第13回	
	正副理事長会議	6日(土) 第1回	6日(火) 第2回	5日(火) 第3回	9日(火) 第4回	8日(水) 第5回	4日(火) 第6回	2日(火) 第7回	6日(火) 第8回	3日(火) 第9回	8日(火) 第10回	8日(金) 第11回	11日(水) 第12回
	行事	5日(金) 新年挨拶回り 16日(火) 岡山JC新年賀詞交歓会 18日(木)～21日(日) 京都会議 (京都)	6日(火) 歴代理事長会議					6日(木)～9日(日) アジア・太平洋地域会議 (カンボジア) 30日(日) 尾崎JC65周年	20日(土)～21日(日) サマーコンファレンス(横浜)	未定 第29回うらじゃ	3日(木)～6日(日) 全国大会(福岡)	10月30日(水)～3日(日) JCI世界会議(台湾)	25日(水) ファミリー家族会 (親睦事業)
岡山ブロック協議会	役員会議	15日(月) (笠岡) 28日(日) (WEB)	7日(水) (玉島) 26日(月) (WEB)	15日(金) (児島) 26日(火) (WEB)	6日(土) (井原) 23日(火) (WEB)	11日(土) (倉敷) 26日(日) (WEB)	4日(火) (玉野)	5日(金) (倉敷)	4日(水) (岡山) 24日(火) (WEB)	12日(土) (未定) 24日(木) (WEB)			
	会員会議所会議	29日(月) (倉敷)	27日(火) (岡山)	27日(水) (備前)	24日(水) (新見)	27日(月) (西大寺)		6日(土) (津山)	25日(水) (真庭)	25日(金) (未定)			
	公式訪問												
	事業							6日(土) ブロック大会 (津山)					
	周年行事												
	その他				28日(日) 野球大会	10日(金) じゃがいも							
中国地区協議会	正副会議	6日(土) WEB	2日(金) (岡山)	1日(金) (小野田)	5日(金) (兼作)	10日(金) WEB	3日(月) WEB	5日(金) WEB	6日(金) WEB	11日(金) WEB	8日(金) WEB	2日(月) WEB	
	財政審査会議	11日(木)	15日(木)	21日(木)	18日(木)	16日(木)	20日(木)		自主監査 19日(木)	17日(木)	21日(木)	4日(水)	
	役員会議	15日(月) WEB	21日(水) (倉敷)	28日(木) (吉南)	25日(水) (府中)	23日(木) (江津)	28日(金) (山口)	22日(月) WEB		26日(木) (WEB)	24日(木) (吉南)	27日(水) WEB	未定 未定 未定
	会員会議所会議	19日(金) (京都)					28日(金) (山口)						
	事業						29日(土) 地区コンファレンス (山口)	3日(土) U-11少年少女サッカー地区大会 (山口)	8日(日) 地区野球大会 (下関)				
	周年行事					11日(土) 鳥取JC65周年	25日(土)～26日(日) 江津JC60周年						
プロダクト事業	13日(土) 初釜(広島B) (広島) 27日(土) 新春会議(広島B) (広島)	3日(土) 山口会議 (山口)		13日(土) ブロックゴルフ大会(広島B) (三原・竹原)		1日(土)～2日(日) ブロック球技大会(広島B) (因島) 2日(日) ブロックスポーツ大会(鳥取B) (出雲)	15日(月) U-11サッカー広島 (福山)						
その他		22日(木) 竹島の日	29日(月) 鳥取BC会頭公式訪問 (鳥取)	9日(火) 岡山BC会頭公式訪問 (倉敷) 15日(月) 鳥取BC会頭公式訪問 (出雲) 22日(月) 山口BC会頭公式訪問 (山口) 27日(土) 広島BC会頭公式訪問 (東広島)			19日(金) 地区ナイト (横浜)						
日本青年会議所	正副会頭会議	6日(土)(JC会館) 12日(金)(JC会館)	1日(木)(JC会館) 8日(木)(大阪・勝尾寺) 22日(木)(福岡)	1日(金)(JC会館)	4日(木)(JC会館) 11日(木)(JC会館) 26日(金)(JC会館)	9日(木)(開催地未定) 30日(木)(埼玉)	13日(木)(開催地未定) 30日(日)(開催地未定)	11日(木)(開催地未定)	4日(水)(大阪) 12日(木)(開催地未定) 19日(木)(帯広) 26日(木)(開催地未定)	17日(木)(一関)	8日(金)(開催地未定) 28日(木)(神戸)	12日(木)(開催地未定)	
	常任理事会	13日(土)(JC会館)	16日(金)(JC会館)	7日(木)(JC会館)	19日(金)(JC会館)	17日(金)(開催地未定)	21日(金)(開催地未定)	18日(木)(開催地未定)	13日(金)(開催地未定)	3日(木)(福岡)	22日(金)(開催地未定)	13日(金)(開催地未定)	
	理事会	19日(金)(京都)	17日(土)(JC会館)	8日(金)(JC会館)	20日(土)(JC会館)	18日(土)(開催地未定)	22日(土)(開催地未定)	19日(金)(開催地未定)	14日(土)(開催地未定)	4日(金)(福岡)	23日(土)(開催地未定)	14日(土)(開催地未定)	
	プロダクト会長会議												
	総会	20日(土)(京都)		23日(土)(東京)						4日(金)(福岡)			
	JCI諸会議	JCI常任理事会/理事会 7日(日)～12日(金)				アフリカ・中東地域会議 22日(水)～26日(日) アメリカ地域会議 8日(水)～11日(土)	アジア・太平洋地域会議 6日(木)～9日(日) ヨーロッパ地域会議 12日(水)～15日(土)	JCI中間常任理事会 22日(月)～26日(金)			JCI世界会議 10月30日(水)～3日(日)		
	NOM主要事業	京都会議 (京都) 18日(木)～21日(日)						国際アカデミー サマーコンファレンス 20日(土)～21日(日)		全国大会(福岡) 3日(木)～6日(日)			
	財政審査会議	8日(月)	10日(土)	2日(土)	13日(土)	11日(土)	15日(土)		13日(土)	7日(土)	28日(月)	16日(土)	7日(土)
	公益審査会議	8日(月)	10日(土)	2日(土)	13日(土)	11日(土)	15日(土)		13日(土)	7日(土)	28日(月)	16日(土)	7日(土)
	コンプライアンス審査会議	8日(月)	10日(土)	2日(土)	13日(土)	11日(土)	15日(土)		13日(土)	7日(土)	28日(月)	16日(土)	7日(土)

公益社団法人日本青年会議所

2024年度 出向者

組織グループ

人財育成委員会

委員長

前田 淳

総括幹事

小野 優

委員

石田 祐己

井上 玉丹穂

臼田 陽平

中村 彰宏

堀 勝之

山田 健二

総務グループ

新 JC ビル建設準備委員会

会計幹事

大川 直人

委員

勝浦 夏彦

清水 陽一郎

諏訪 智彦

新後 善弘

本郷 昌一

渉外委員会

委員

国司田 孝介

松本 卓也

総務委員会

副委員長

藤澤 謙

委員

野本 智也

花房 利宇

安原 和宏

渡邊 陵太

公益社団法人日本青年会議所

中国地区協議会

2024年度 出向者

副会長

三垣 章一

監査担当役員

幡山 益聖

地区役員幹事

城戸 貴登

山口 猛

公益社団法人日本青年会議所
中国地区 岡山ブロック協議会
2024年度 出向者

副会長

竹中 広太

副会長幹事

大熊 一旗

山崎 洋介

共感を生み出すブランディング会議

副議長

倉元 宏光

委員

与田 雄人

理念共感拡大グランドデザイン推進委員会

副委員長

時末 幸範

委員

梶岡 洋佑

郷土愛あふれる岡山創造委員会

副委員長

森上 真夢

委員

藤井 彰一

想い合う心あふれる人財育成委員会

副委員長

田中 康次朗

委員

武元 浩

公益社団法人日本青年会議所

2024年度 役員選挙管理委員会メンバー

委員長

幡山 益聖

副委員長

田中 康一

幹事

光本 秀兵

委員

梶岡 洋佑

黒田 勇人

野本 智也

山田 健二

公益社団法人 岡山青年会議所
収支予算書
2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	3,000	3,000	0	
特定資産利息収入	3,000	3,000	0	
②受取入金会金収入	3,200,000	3,000,000	200,000	
受取入金会金収入	3,200,000	3,000,000	200,000	
③会費収入	25,105,000	28,845,000	-3,740,000	
正会員会費収入	21,780,000	25,470,000	-3,690,000	
特別会員会費収入	2,800,000	2,800,000	0	
特別会員積立金収入	525,000	575,000	-50,000	
④事業収入	50,840,000	53,808,000	-2,968,000	
登録料収入	18,045,000	20,942,500	-2,897,500	
販売収入	60,000	0	60,000	
広告料収入	32,735,000	32,865,500	-130,500	
⑤受取補助金等収入	0	0	0	
⑥受取負担金収入	0	0	0	
⑦受取寄付金収入	2,670,000	300,000	2,370,000	
受取寄付金収入	2,670,000	300,000	2,370,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	300	300	0	
受取利息収入	300	300	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	81,818,300	85,956,300	-4,138,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	79,030,325	83,066,841	-4,036,516	
総務費支出	300,000	300,000	0	
事務所費支出	3,000,000	3,000,000	0	
会議費支出	0	0	0	
人材派遣支出	1,200,000	1,200,000	0	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
会場設営費	22,506,133	13,662,625	8,843,508	
企画・演出費	12,311,396	23,884,446	-11,573,050	
本部関係費	283,310	457,958	-174,648	
講師関係費	3,707,140	2,182,940	1,524,200	
広報費	5,602,074	5,745,740	-143,666	
資料作成費	382,450	784,120	-401,670	
報告書作成費	321,448	300,118	21,330	
参加記念品費	669,400	1,488,921	-819,521	
事務委託費支出	880,000	1,210,000	-330,000	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信費支出	902,776	911,676	-8,900	
印刷費支出	700,000	1,000,000	-300,000	
消耗品支出	350,000	350,000	0	
光熱水料金支出	0	0	0	
会員費支出	2,000,000	2,000,000	0	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	150,000	150,000	0	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	2,310,909	0	2,310,909	
渉外費	309,961	309,961	0	
J C I 渉外費	339,000	318,000	21,000	
備品購入支出	100,000	100,000	0	
雑支出	100,000	100,000	0	
賃借料	0	792,000	-792,000	
保険料	268,890	291,195	-22,305	
諸謝金	0	0	0	
委託費	0	0	0	
助成金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
接待交際費	0	0	0	
雑費	18,433,929	20,765,169	-2,331,240	
予備費	1,901,509	1,761,972	139,537	
③負担金支出	2,339,404	2,494,424	-155,020	
加盟団体年会費支出	2,339,404	2,494,424	-155,020	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	81,369,729	85,561,265	-4,191,536	
事業活動収支差額	448,571	395,035	53,536	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
保証金戻り収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出計			0	
①特定資産取得支出	0	0	0	
積立引当財産支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計			0	
財務活動収支差額			0	
IV 予備費支出				
予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	448,571	395,035	53,536	
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額				

公益社団法人 岡山青年会議所
正味財産増減計算書
2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	予算額 (公益)	予算額 (共益等)	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	3,000			3,000	0
基本財産受取利息	3,000	3,000		3,000	0
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入金	3,200,000	1,600,000	1,600,000	3,000,000	200,000
受取入金	3,200,000	1,600,000	1,600,000	3,000,000	200,000
受取会費	25,105,000	12,552,500	12,552,500	28,845,000	-3,740,000
正会員受取会費	21,780,000	10,890,000	10,890,000	25,470,000	-3,690,000
特別会員受取会費	2,800,000	1,400,000	1,400,000	2,800,000	0
特別会員積立金収入	525,000	262,500	262,500	575,000	-50,000
事業収益	50,840,000	35,645,000	15,195,000	53,808,000	-2,968,000
青少年育成事業収益	2,300,000	2,300,000	0	2,950,000	-650,000
人材育成事業収益	1,400,000	1,400,000	0	1,995,000	-595,000
地域活性化事業収益	31,945,000	31,945,000	0	30,365,500	1,579,500
会員研修事業収益	15,195,000	0	15,195,000	18,497,500	-3,302,500
受取補助金等					
受取国庫補助金	0	0		0	0
受取負担金	0	0		0	0
受取負担金	0	0		0	0
受取負担金振替額					
受取寄付金	2,670,000	2,510,000	80,000	300,000	2,370,000
受取寄付金	2,670,000	2,510,000	80,000	300,000	2,370,000
募金収益					
受取寄付金振替額					
雑収益	300	150	150	300	0
受取利息	300	150	150	300	0
有価証券運用益	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	81,818,300	52,307,650	29,427,650	85,956,300	-4,138,000
経常費用					
事業費	73,746,250	52,907,500	20,838,750	77,897,630	-4,151,380
給料手当	0	0	0	0	0
人材派遣費	1,050,000	900,000	150,000	1,050,000	0
接待交際費	0	0	0	0	0
会場設営費	22,506,133	13,785,143	8,720,990	13,662,625	8,843,508
企画・演出費	12,311,396	3,247,358	9,064,038	23,884,446	-11,573,050
本部関係費	283,310	219,310	64,000	457,958	-174,648
講師関係費	3,707,140	3,597,140	110,000	2,182,940	1,524,200
広報費	5,602,074	5,335,296	266,778	5,745,740	-143,666
資料作成費	382,450	324,500	57,950	784,120	-401,670
報告書作成費	321,448	110,480	210,968	300,118	21,330
渉外費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	792,000	-792,000
参加記念品費	669,400	0	669,400	1,488,921	-819,521
保険料	268,890	228,890	40,000	291,195	-22,305
通信運搬費	827,776	702,578	125,198	836,676	-8,900
減価償却費	0	0	0	0	0
什器備品費	87,500	75,000	12,500	87,500	0
消耗品費	306,250	262,500	43,750	306,250	0
印刷製本費	612,500	525,000	87,500	875,000	-262,500
賃借料	2,625,000	2,250,000	375,000	2,625,000	0
諸謝費	0	0	0	0	0
租税公課	1,849,545	1,849,545	0	0	1,849,545
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	18,433,929	18,387,175	46,754	20,765,169	-2,331,240
予備費	1,901,509	1,107,585	793,924	1,761,972	139,537
管理費	7,623,479		7,623,479	7,663,635	-40,156
給料手当	0	0	0	0	0
人材派遣費	150,000		150,000	150,000	0
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	75,000		75,000	75,000	0
減価償却費	0		0	0	0
什器備品費	12,500		12,500	12,500	0
消耗品費	43,750		43,750	43,750	0
印刷製本費	87,500		87,500	125,000	-37,500
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	375,000		375,000	375,000	0
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	461,364		461,364	0	461,364
支払負担金	2,339,404		2,339,404	2,494,424	-155,020
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	3,330,000		3,330,000	3,660,000	-330,000
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	748,961		748,961	727,961	21,000
経常費用計	81,369,729	52,907,500	28,462,229	85,561,265	-4,191,536
当期経常増減額	448,571	-599,850	965,421	395,035	53,536
当期一般正味財産増減	448,571	-599,850	965,421	395,035	53,536
一般正味財産期首残高					0
一般正味財産期末残高					

公益目的事業比率	52,907,500	=	0.650
	81,369,729		

公益社団法人岡山青年会議所 2024年度理事長公職

岡山県青少年育成県民会議 理事

岡山県FOS少年団連盟 理事

社会福祉法人岡山県共同募金会 評議員

岡山中央暴力追放推進協議会 会員

岡山県西暴力追放推進協議会 会員

「小さな親切」運動岡山本部 役員

第73回“社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員

国立吉備少年自然の家 施設業務運営委員会 委員

岡山市交通安全対策協議会 委員

岡山国際音楽祭実行委員会 実行委員

公益財団法人岡山市公園協会 評議員

春の花いっぱい運動 主催団体

おかやま桃太郎まつり運営委員会 理事

MOMOTAROH FANTASY 実行委員会 実行委員長

「心豊かな岡山っ子」応援団 団員

岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員

岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事

岡山っ子育成条例推進会議 委員

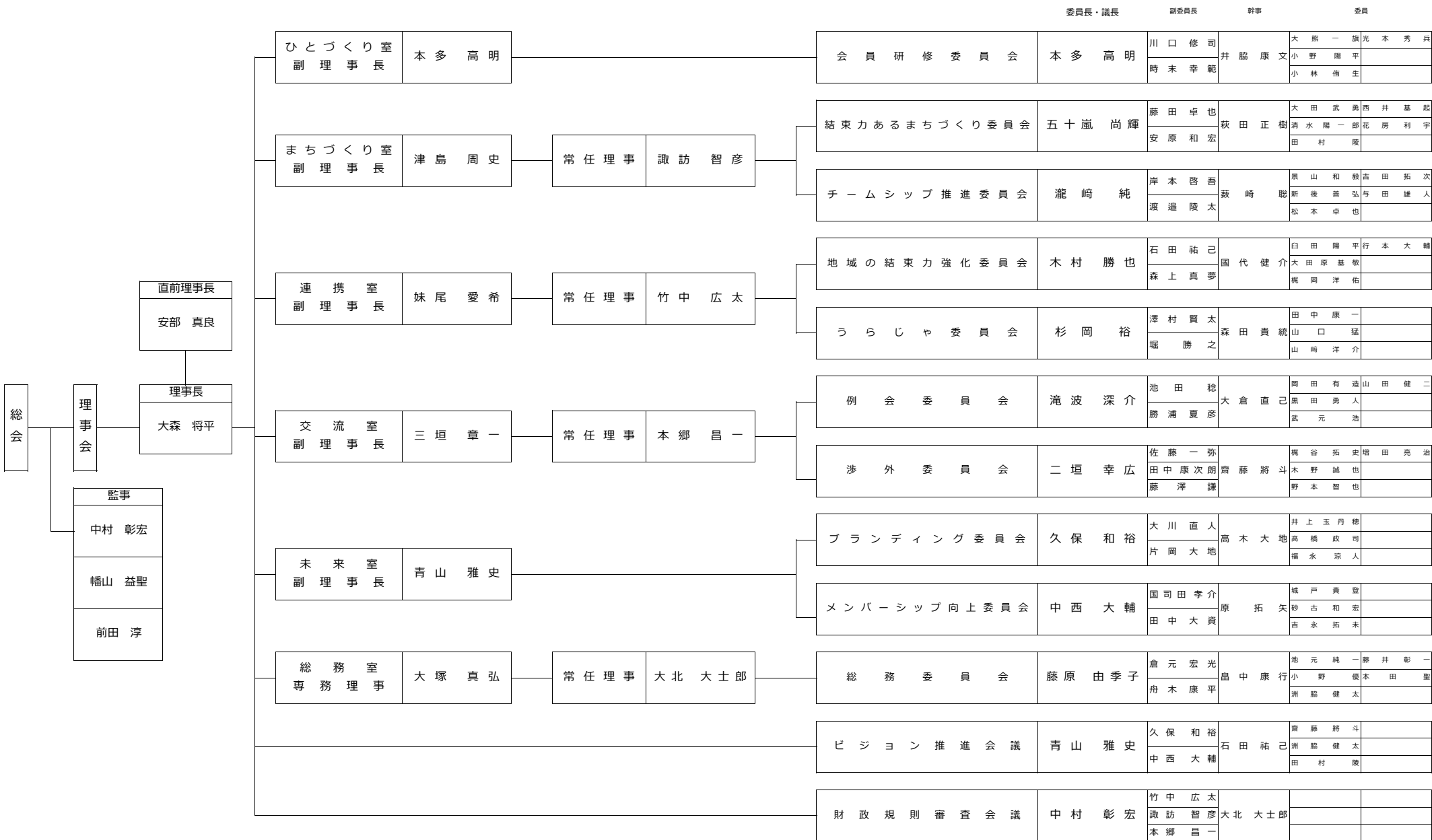
旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員

岡山県日韓親善協会 理事

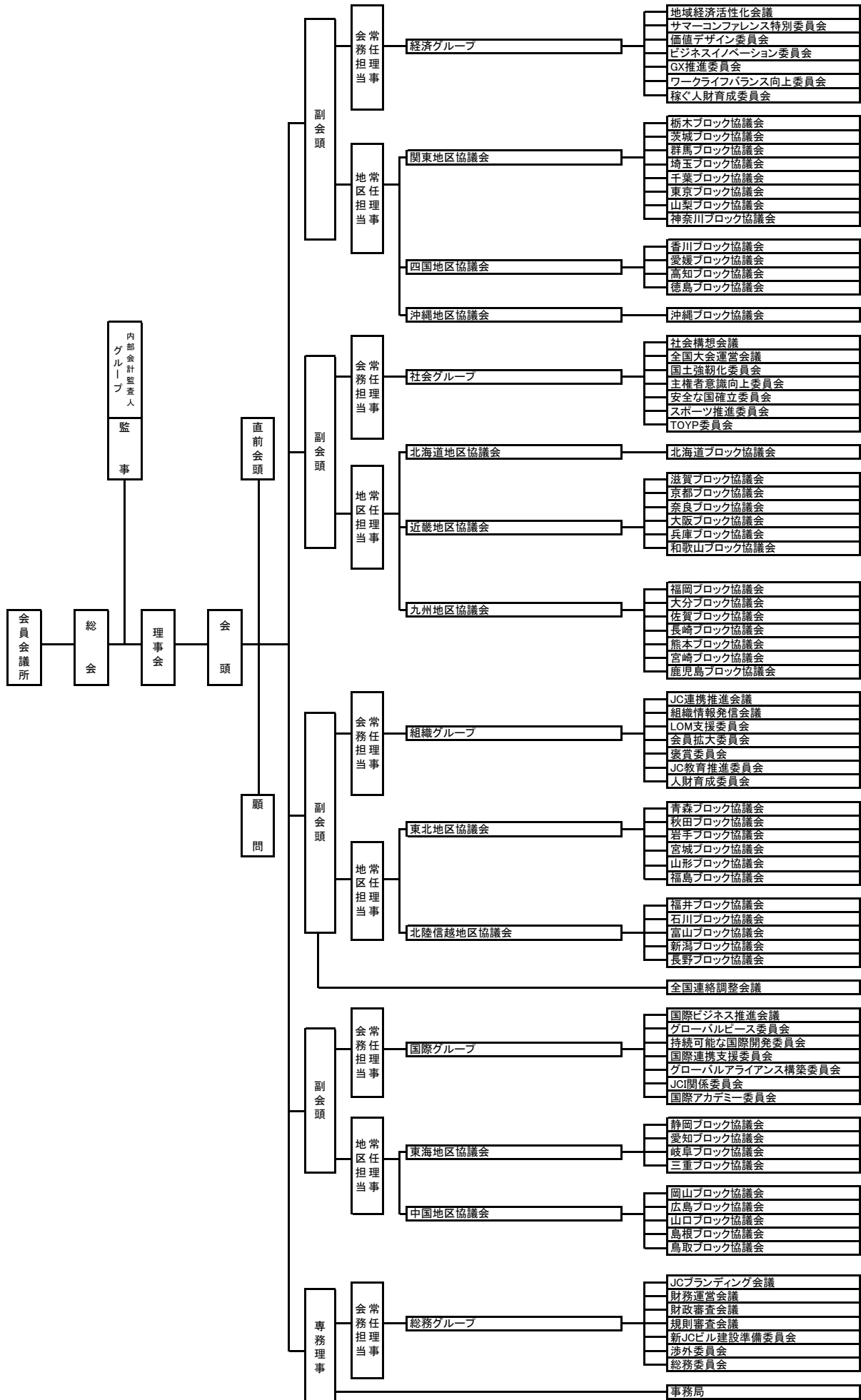
岡山県警察友の会 会員

「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

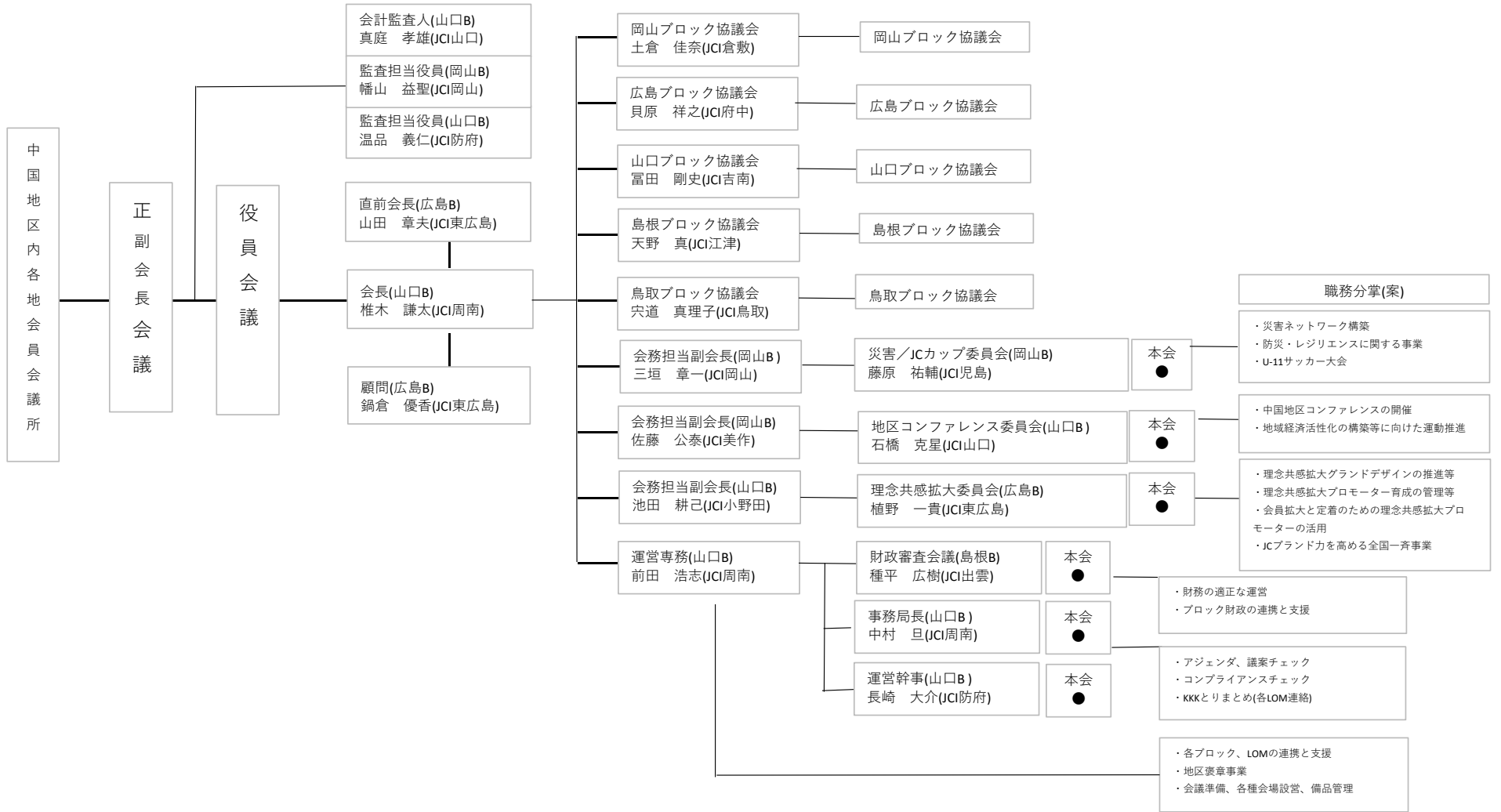
公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 組織図



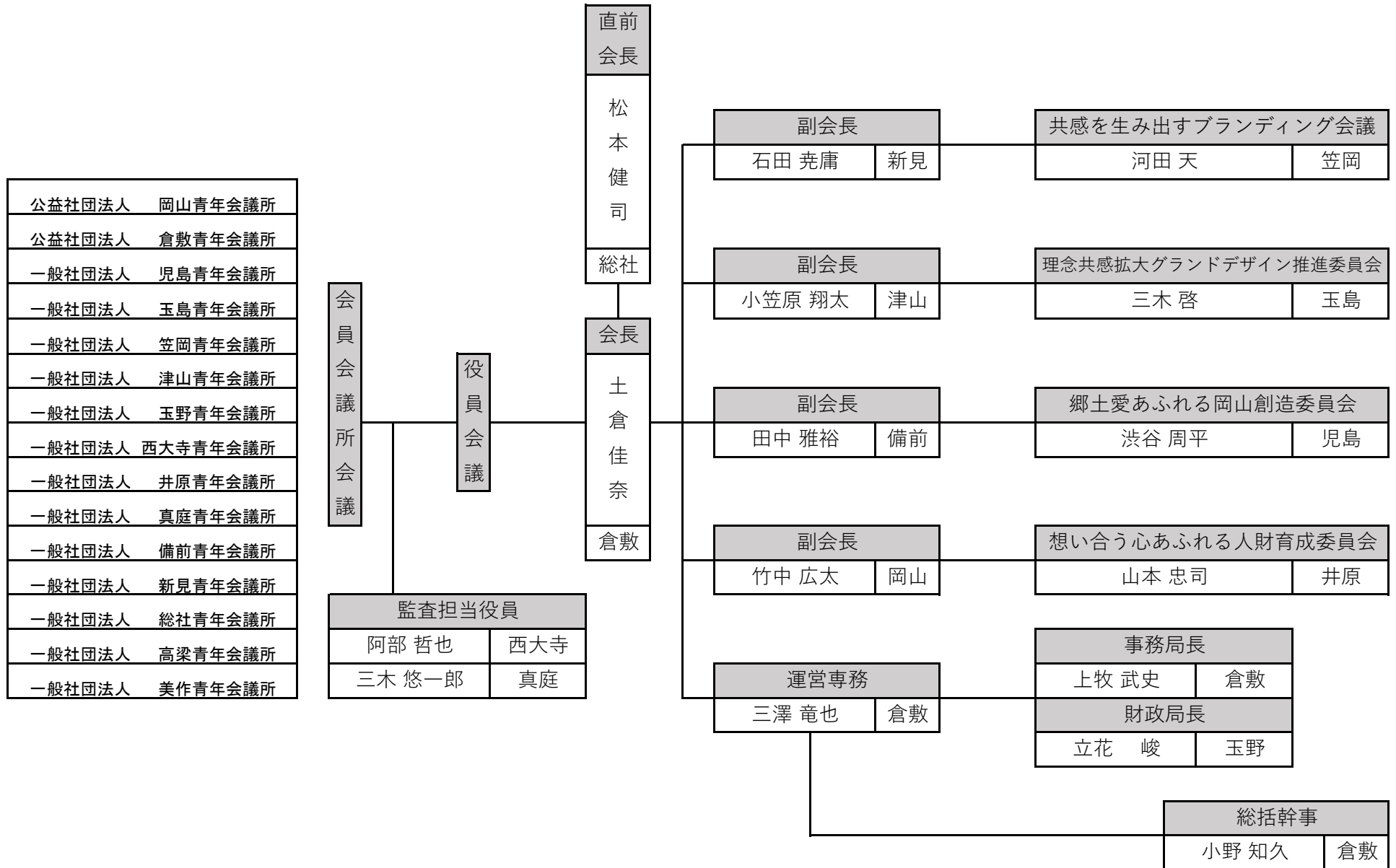
公益社団法人日本青年会議 所2024年度 基本資料 組織図



2024年度 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 役員組織図



2024年度 岡山ブロック協議会 組織図



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初代	1951年	江見祐吉	第37代	1987年	伊原木省五
第2代	1952年	江見祐吉	第38代	1988年	池田金治郎
第3代	1953年	松田基	第39代	1989年	若林昭吾
第4代	1954年	松田基	第40代	1990年	中島康博
第5代	1955年	服部好郎	第41代	1991年	永野資幸
第6代	1956年	稲田洋一	第42代	1992年	松田久
第7代	1957年	藤木昌二	第43代	1993年	服部恭一郎
第8代	1958年	池田徳五郎	第44代	1994年	柳井淳
第9代	1959年	庭瀬欣一郎	第45代	1995年	森下矢須之
第10代	1960年	松田堯	第46代	1996年	西康宏
第11代	1961年	関種雄	第47代	1997年	梶谷俊介
第12代	1962年	西下賢治	第48代	1998年	稲荷泰瑛
第13代	1963年	逢沢英雄	第49代	1999年	永山久人
第14代	1964年	石原真臣	第50代	2000年	黒瀬仁志
第15代	1965年	小林達也	第51代	2001年	西川智晴
第16代	1966年	中島輝夫	第52代	2002年	岡崎正裕
第17代	1967年	黒瀬友近	第53代	2003年	藤原史暁
第18代	1968年	小林稔	第54代	2004年	梶原康彦
第19代	1969年	奥山勝太郎	第55代	2005年	八木一成
第20代	1970年	中島博	第56代	2006年	占部守弘
第21代	1971年	木原佑一	第57代	2007年	吉村武大
第22代	1972年	黒瀬敦美	第58代	2008年	石田敦志
第23代	1973年	中野英一	第59代	2009年	永山雅己
第24代	1974年	徳元秀臣	第60代	2010年	岸本浩二
第25代	1975年	福武和彦	第61代	2011年	中山賢太郎
第26代	1976年	片山義久	第62代	2012年	有松林太郎
第27代	1977年	伊原木一衛	第63代	2013年	尾崎茂
第28代	1978年	石田規夫	第64代	2014年	鈴森賢史
第29代	1979年	藤原敬介	第65代	2015年	久松朋史
第30代	1980年	前坂匡紀	第66代	2016年	佐野範一
第31代	1981年	服部弘平	第67代	2017年	高見宣哉
第32代	1982年	野津喬	第68代	2018年	青木浩平
第33代	1983年	岡崎彬	第69代	2019年	古市聖一郎
第34代	1984年	滝澤輝治	第70代	2020年	高山晃一
第35代	1985年	小嶋光信	第71代	2021年	小林佑輔
第36代	1986年	末長範彦	第72代	2022年	石井聖至

(敬称略)